

令和3年11月24日

帯広市長 米沢 則寿 様

帯広市特別職報酬等審議会

会長 金山 紀久



特別職の給料及び報酬について (答申)

令和3年10月14日付け帯人事第164号で諮問のあった「市長及び副市長の給料並びに議員報酬の水準」について、別添のとおり答申します。

3.11.24

市長及び副市長の給料並びに議員報酬
の水準について

答 申

令和3年11月24日

帯広市特別職報酬等審議会

答 申

帯広市長及び副市長の給料の額並びに帯広市議会議員の報酬の額について、下記のとおり検討した結果、いずれも現行どおりの額とすることが適当である。

記

1 はじめに

令和3年10月14日に市長から本審議会に対し、「市長及び副市長の給料並びに議員報酬の水準」について諮問がなされた。

これは、平成25年10月30日に本審議会より「次期以降は、市長並びに議員の任期を目途とした一定期間ごとに改定の必要性を審議することが望ましい」との答申を受け、本年、その「一定期間」が経過し、審議すべき時期にあるものとして、意見を求められたものである。

諮問の趣旨に従い、職務・職責の評価、他都市との均衡、社会経済情勢の変化という3つの観点を議論の中心に据え、市の財政状況も考慮しつつ、4回にわたり審議会を開催し、関係する資料について慎重に検討、議論を行った結果、上記答申の結論に至ったものである。

2 市長及び副市長の給料について

前提として、本審議会は市長や副市長の業績を評価するのではなく、その職務や職責に見合う適正な給料水準について議論する場であることを確認した上で、審議を行った。

職務や職責については「人口減少や異常気象、多発する自然災害への対応など、自治体の役割はますます大きくなっている」、「市長や副市長は、土日や夜間も職務に当たっており、しっかりと職責を果たしている」と評価する意見が出された。また、道内の主要都市や十勝管内他町村の首長の給料額などと比較したところ、市長及び副市長の給料については他都市との均衡が図られており、適切な水準にあることを確認することができた。

一方で、「新型コロナウイルス感染症による地域経済へのダメージを踏まえる必要がある」、「コロナワクチンの接種が中々進まなかったことに対し、市民から不満の声が上がっている」など、コロナ禍における市民感情を踏まえるべきとの意見が出された。こうした意見を踏まえた上で、さらに議論を重ねた結果、「コロナ禍の終息を完全に見通すことはできないが、特別職の給料を増減させるまでの状況にはない」、「コロナ禍による経済への影響を踏まえ、給料を下げるべきとの意見があることは感情的には理解するが、現状維持が妥当」との認識で一致したところである。

以上のことより、市長と副市長の給料については、現行の水準を維持することが適当と考えるものである。

3 議員報酬について

議員については、「与えられている職務や職責が特別職に比べて見えづらい」との指摘があった一方、「自分の住む地域から議員が選出されており、しっかりと職務を果たしている様子が確認できる」、「個人的に活動内容を把握している議員が数名おり、状況は理解している」との意見も出される中、特別職同様に、その職務や職責に見合う適正な報酬水準について審議を行ったものである。

各委員からは、「議員は市域全体の市民から意見を聞きながら活動する必要があり、職務は複雑」との意見が出されたほか、「過去に議員定数を32名から29名に削減したことによって、議員一人当たりが抱える市民の数は増えている」、「管内他町村の議員と比較すると、帯広市の報酬は適切な水準」との意見があった。また、「高齢者ばかりではなく若い世代が議員になることも踏まえると相応の報酬が不可欠であり、現在の額は妥当」として、議員報酬を生活給として捉えることに理解が示されたところである。

一方で、新型コロナウイルス感染症による影響から、「議員が住民と会う機会は確実に減っている」、「活動の機会が減ったことを踏まえて、議員から、自らの報酬を下げるべきとの意見は出ていないのか」との発言もあったが、議員の活動にかかわる経費をコロナ対策に活用するよう市長に要望した事例についても考慮した上で、最終的には、議員報酬は現行水準を維持することが適当であるとの結論に至ったものである。

結びに

市長及び副市長の給料並びに議員報酬等を審議するに当たっては、幅広い層からの意見を慎重に検討することはもとより、中期的な視点に立って、社会情勢及び経済状況を考察・勘案することが適切であると考え、引き続き市長や議員の任期を目途とした一定期間ごとに改定の必要性等を審議することが望ましい。

なお、市長と議員の双方に対し、「自身の活動内容等を知ってもらうため、より効果的に情報を発信すべき」との意見が複数の委員から出されていることを踏まえ、情報過多の時代であるからこそ、市民が望む情報をよりの確に届けるための取組みに一層注力されることを強く望み、答申の結びとする。

(参考)

令和3年帯広市特別職報酬等審議会 開催概要

1 委員名簿

会 長	金 山 紀 久
委 員	金 澤 はるみ
同	富 井 司 郎
同	火ノ川 好 郎
同	前 田 英 司
同	室 崎 明 美
同	若 原 敏 広

2 審議状況

第1回（10月14日）	給料等についての現状把握
第2回（10月21日）	特別職給料及び議員報酬の水準について
第3回（11月11日）	〃
第4回（11月24日）	答申取りまとめ